

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回加東市立図書館協議会
開催日時	令和5年8月29日（火）18時00分から19時30分まで
開催場所	加東市中央図書館 会議室（2階）
<p>◇協議事項</p> <p>（1） 令和4年度 図書館活動報告</p> <p>説 明：館長 会議資料と図書館年報『くらしの中に図書館を』に基づき説明 各副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>（2） 令和5年度 事業計画</p> <p>説 明：各副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>（3） その他 指定管理者制度導入検討の件</p> <p>説 明：館長 事前配布資料に基づき説明</p> <p>◇協議の概要</p> <p>（2） 令和5年度 事業計画</p> <p>委 員：東条図書館の今年度の事業で、書架の入れ替えというのは何か。</p> <p>事務局：10月か11月に臨時休館し、児童コーナーの書架を旧図書・情報センターの書架と入替えを行う予定。この書架の方が丈夫で使いやすいため。</p> <p>委 員：中央図書館のこわいおはなし会は、おはなしサークルと一緒にしたので参加者の人数が多く盛況だったのか。</p> <p>事務局：おはなしサークルのストーリーテリングが体験できるということの魅力と、終わったあとに真っ暗な図書館を探検できるということがすごく子どもに人気があったようだ。</p> <p>（3） その他 指定管理者制度導入検討の件</p> <p>各委員からの意見発表</p> <p>事務局：会長からの質問（代読）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、指定管理者制度導入を検討される背景は何ですか。 平成30年からの第2次加東市総合計画に図書館で指定管理者制度を導入するかしないかを検討するというのが掲載されているため、委員のみなさんに検討していただきたい。 ・現在の図書館の問題点は何なのですか。 正職員（司書資格持ち）の人材確保の問題のみ。他のサービスは頑張っ てやっている。 	

- ・人件費の見積もりはどこが作成したか。

指定管理を実施している業者が作成。

業者から現状と同じサービスをするのにいくらかかるかという見積もりを取った。正職員と会計年度任用職員全員の賃金を合わせた数字と比較して、だいたい1,500万円から2,000万円くらい、今の直営よりは増えるという見積もりだった。

会長からの意見（代読）

- ・千代田区の日比谷図書館に行った。ここは指定管理者制度の専門的な図書館で、児童書は全然ないけれども、郷土資料・各種統計資料等充実している。しかし、全区民を対象とした公共図書館としての条件は満たしていない。
- ・中野区立中央図書館も近くにあるから行った。（『日本の図書館』で調べると中野区立は指定管理の図書館）こちらは加東市とよく似たあったかい雰囲気のある図書館で利用しやすい。
- ・加東市の資料提供の現状について
サービス面でも高レベル・充実した図書館として経営されている。市内の3館はもとより近隣の図書館とも連携して住民の権利である資料要求にも十分に対応している。またウェブ対応等もされているが、この状況が指定管理でも保たれるのか不安です。
- ・公共図書館の役割について（私見）
1・資料・情報提供、読書スペースの提供。2・個人の意思決定をするための情報提供。3・子育て支援ブックファースト、読書習慣の形成。4・教育的な支援。5・人生100年時代の生涯学習。学びの場ということ考えると市役所の各課や教育委員会や学校等との連携は不可欠であり、スムーズな対応が求められる。指定管理にすると業者の意思で経営がなされるので、この連携が十分に保たれるとは思えない。指定管理者制度導入には反対します。

委員：指定管理にしたがデメリットがあり直営に戻したという図書館の意見が色々強く頭に残る。もし、加東市立図書館で指定管理を導入するとしたら、同じような事は少し不安がある。指定管理だとロビー等、活気があって華やかなイメージがあり、憧れる気持ちもありますが、市民が将来も安心して利用できる図書館事業の継続性・安定性・公平性ということ考えるとやはり直営でやってもらうのがいいのではないかと思う。現在、加東市立図書館の利用状況とか運営状況とかは悪くなく、とても良いと思いますので、さらに他施

設や指定管理の良い面を取り入れて、よりよい図書館作りを直営でやってほしいと思う。

委員：資料を見て、一番いいなと思ったのは開館時間が長いということ。新しいものを取り入れるスピードが早いということが、指定管理者のメリットだと思う。その他は今の状況とはすぐわなかなと思う。

滝野図書館が6時に閉まるので、平日は行きづらい。中央図書館へは少し遠いので滝野も週に1回か3日に1回、6時半か7時まで開いている日があればいいなと切に思う。また、電子図書がすごく増えてきて電子図書でしか発行していないものも出てきている。そちらも予算的に許せば導入をしてもらいたいなと指定管理のメリット的なものを見たが、その他のことは今のままが良いと思う。

事務局：委員欠席のため代読。

指定管理者制度導入について。導入はなじまない。直営のメリットを活用すべきと考える。「日本図書館協会は、図書館への指定管理者制度の導入はなじまないと考えます。」というのに賛同する。守谷中央図書館（茨城県）が直営に戻した理由と直営のメリット。

- ・ 保育所・学校など関係機関と事業を行うために密接な連携ができる。
- ・ 図書館の本質を踏まえ、図書館サービスの充実を図ることができる。
- ・ 専門性・経験値の高い職員を配置し、スタッフの育成や質の高いサービスを行える。

指定管理者制度の導入はなじまないという考えだ。

委員：難しいことはわからなかったが、今まで加東市の図書館に通わせていただいて、聞きたいこととか本のことに對してすごく丁寧に答えてくれる。そういうサービスができるのは、自治体の職員が身近にいるからこそだと思っている。指定管理者になるとそういう細やかなことがなくなってしまうのではないかと懸念する。今の現状のまま続けていただきたい。

委員：紙を書いて渡す時間が無かったが、この日比谷図書館とかを見るとカフェとかあったりしておしゃれでいいな、都会的だなと思うが、結構大人も子どもも図書館のお姉さんたちに、いろいろ解らないこととかいつも教えてもらって、知らなかった本もすぐ取り寄せていただいたりとか、そういうところが私は好きなので、私もこのままがいいと思う。

委員：今の直営のメリットを続けていただきたいというのが、私の正直な意見。中央図書館だけでも7時までずっと館を開けている。いろいろ本について尋ねしても応えてくれる。何よりも私自身が人見知りなので、あそこに行けば

お馴染みの顔があるということ、そこに親近感を感じ利用している。人間同士の付き合いみたいなものが、指定管理者制度になれば全て潰れるとは思わないが、雇用形態は単年度で、どんどん変えざるをえない、成果が上げられなければ、他の業者になってしまう。ということでお馴染み感というか地域に根ざした感じが薄れてしまうと思う。血が通うような人間的なお付き合いをずっと永く続けていくというのをプラスアルファとして本を楽しむことがあるような気が非常にしている。

見積書等も拝見したが、経費の削減になっていない。逆行していると正直思った。昨今の物価高だから最低限の人件費だけでも 9,000 万円を超えるとかそれでいいのかという気持ち。

中央図書館はレファレンスもしてくれるし、所蔵の無い本をリクエストしているが断られたためしがない。非常にありがたく感謝の一念しかないが、それが無くなるのはとても寂しい。

指定管理は華やかさがあると言われたが、各図書館で、おはなし会や折り紙工作をしてみたりといっぱいされていて、しかもおすすめの本という陳列もあって十分華やかではないかと思う。

滝野図書館では、かつてロビーの所で安価で美味しいコーヒーやケーキを提供していた。コロナが落ちつけばそういうことも復活して、図書館の本を楽しむつつカフェも楽しめるというチャンスに恵まれることもあるのではないかな。どうして指定管理者制度の導入なのかが甚だよくわからない。

委員：私は図書館のことに明るくなく、親が図書関係の仕事をしているので、親に聞いた。親は図書館に勤めていたこともあったので、こういう様な役割があるよというのを聞いたうえで、親から指定管理者制度で働かれている方にも意見をもらった。そうすると、確かに民間で働かれている良さとかを活かして図書館をアピールできるようなイベントづくりというのは、すごく得意分野であるというように聞いた。ただ、短期間での人員の入れ替わりとかがある関係で長期的な職員・スタッフのスキルアップが難しいというようにも聞いた。どちらがいいとはっきり書けなかったが、他の委員のお話を聞けば地域に根ざしたという点では、直営がすごく魅力的なのかなとも感じる。

委員：私も導入検討に至った経緯がわからなくて、自分なりに調べて考えた。指定管理者制度を導入するメリットについては、業者さんのノウハウによってはコストの削減ができたり施設管理に様々ないいことがあるのかなと思った。一方で不安な部分もあるかなと思ったのが自治体の図書館の思いに基づく運営がされるかどうかとか、サービスが今のサービスより低下しないかとか、

コスト削減によってそれを理由にしたサービスの低下が心配だなということと、プライバシーの保護で不安もあるのかなとも思ったり、住民の方の要望が反映できるものになっていくのかなとも思ったり、それから長期的に同じ業者さんというわけでもないように資料から見受けられたので、そのつなぎ目がどうなのかなと思った。また、意思疎通の面では直営の方が学校としても連携がスムーズにできていたり、課題の共有がスムーズにできたりというところではすごくお世話になっていると思う。専門性のある職員の方に行ろいろお話を伺ったりできることは、学校としてはとっても良いことだなと思ってるし、資料を見ても加東市のサービス指標がすごく高いところにあるかなと思ったので、指定管理者制度の導入を今するということには、至らないのではないかなという考えになった。近隣の市でもあまり導入が見られないということは、何かそれなりの直営のメリットの方が大きいのかなという思いは感じた。

質疑応答

委員：近いところではどこがあるか。

事務局：近いところでは、三田市が指定管理者制度の図書館。

委員：三田市とか姫路市とか、大きなところは指定管理になるのですか。

事務局：明石市・神戸市もです。

委員：職員の体制が今後どうなるかということが一番ですね。

事務局：総合計画があるので、人事の方も今後どうなるのかわからない。

教育長：みなさんには加東市にとってより良い図書館の在り方ということで、今ご意見をいただきました。そのうえで、私たちがどうするかの問題です。体育施設が、今年度から指定管理になったが体育施設と図書館は全くの別物。今日は、これからの図書館をより良くしていくためのご意見をいただいた。それを参考としながら、こちらとしても明確な考えを持って進めていきたいと思う。これからも様々なアイデアや、図書館が良くなると思うご意見をいただければありがたい。

委員：ということは、指定管理者制度の導入をみなさんの意見を聞きつつ、考えていく歩みを進めるという意味か。

教育長：結論を出しているわけではない。良い図書館を作っていくという意味で、市民のみなさんからのご意見を聞かせていただきながら方向性を出して行きたい。

委員：他の委員さんも言われたように、コロナが落ちついてきたのでぜひ滝野図書館のカフェを復活させる方向でお願いしたい。

事務局：以前されていた方が、コーヒーを飲みながら本を読みたいという、明確なイメージを持っておられて、滝野図書館のロビーは飲食のできる施設になっているので、やっていただくと本当に盛況だった。コロナの方も落ちつきましたので、再開できればなと思う。

委員：中央図書館では、無理か。

事務局：（内装改修）工事のあとに、この部屋を勉強しながら、飲食可能なスペースにしようとしている。ここでカフェは難しいが、持ち込みで飲食可能にする。

委員：中央図書館が9月1日から3か月休みの状況。滝野図書館の開館時間についてはどうか。午後7時まではできるか。

事務局：開館時間の延長は考えてない。午後6時まで。

事務局：滝野図書館に行けない方は、社公民館で臨時窓口を毎週土曜日に設ける。予約の本はそちらで受け取りできる。

委員：年代別の利用状況を見ると、中学生の公共図書館を利用する数が少ない。もう少し学校サイドとの連携とかが図れないのかなと思う。また小学校入学前の幼児は、おはなし会には多く参加しているが、貸出冊数とか利用人数の伸びが悪い。

事務局：統計は図書館カードを作らないと反映されない。赤ちゃんの図書館カードを本人名義で作って赤ちゃん用の本を借りると反映されるが、保護者が自分のカードで借りられると増えない。保護者の意思が反映されるので難しい。

委員：そのあたりを、幼児の数字が伸びるように工夫して欲しい。そうなると30台の子育て世代ももう少し伸びるのではないか。

教育長：東条学園は、図書室に学校司書がいて、子どもたちに本の紹介などを行っている。社や滝野もできる1年前から市の採用で、魅力ある図書室を作っていく。

委員：公共図書館と学校図書室の連携で、例えば市立図書館の蔵書検索をして学校図書室で借りられたり返せたりするような事をすれば、結果的に図書館の利用が増えるのではと思う。

委員：例えば週に1回でもそれができれば、実際に市立図書館に行ってみようという気が起きるかもしれない。これからの検討材料にしてください。

教育長：そのあたりは現状を確認しながら、検討をさせてもらいたい。

令和5年 月 日

議長

署名人

署名人